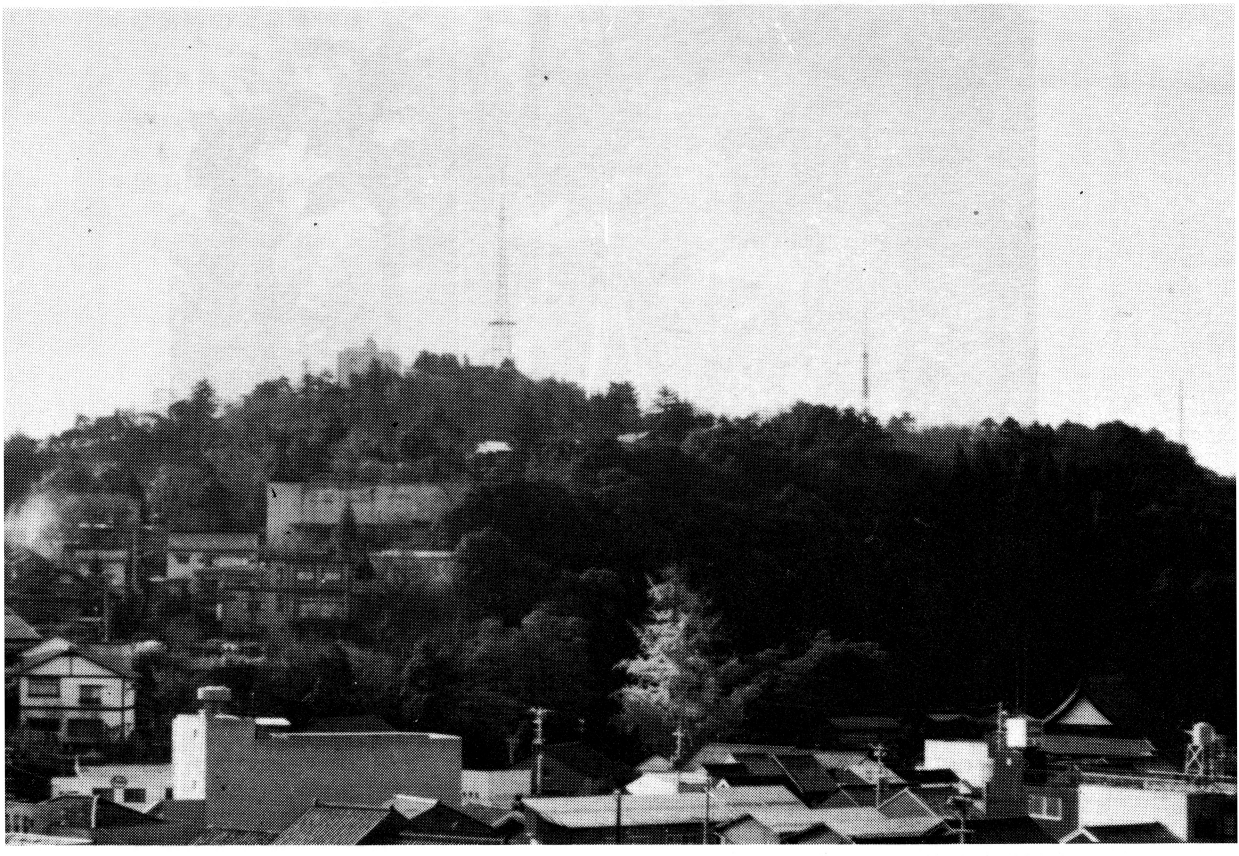
足羽山の自然観察

ガイドブック

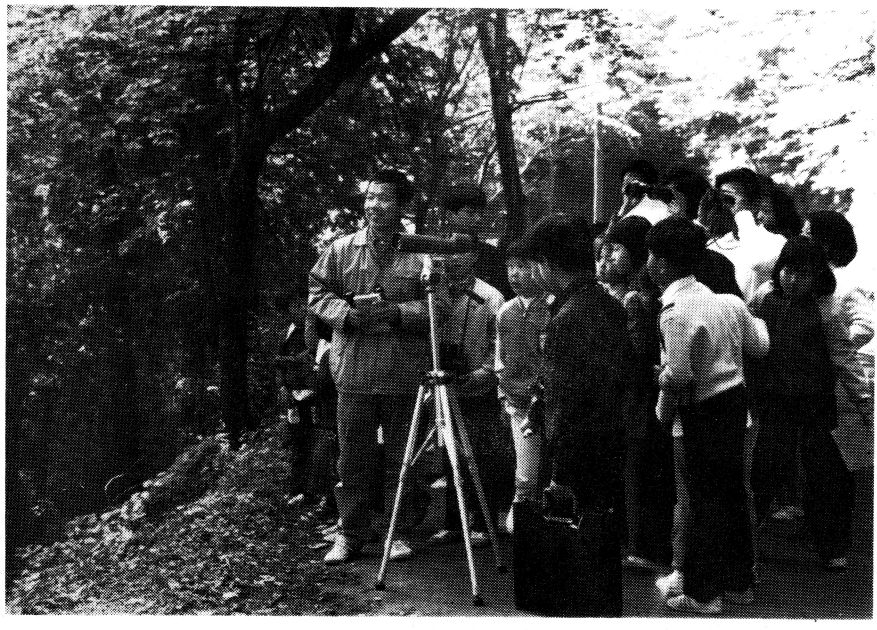
長　田　　勝　編



創立２５周年記念
福井市立郷土自然科学博物館
（１９７７年３月）

親　子　で　歩　こ　う

自然観察は歩くことから始まります。親子づれで足羽山を歩き、親子いっしょに自然をみつめ、自然の大切さについて親子で話しあう--------。ガイドブックの巻末には、自然観察に適した場所を記入した地図があります。このガイドブックが親子と自然の対話に少しでも役立ってくれれば幸いです。下の写真は足羽山における野鳥観察会のひとこまです。



足羽山の自然を守ろう！

足羽山を歩いてみると草や木、虫や鳥たちがせいいっぱい生きていることが感じられます。身近かな場所に残されている自然は、私たちにとってかけがえのない財産ではないでしょうか。いつも気軽におとずれて、自然と親しく接することのできる足羽山。この山がいつまでも美しい山であってほしいものです。

表紙の写真は足羽川のほとりからみた足羽山の北東部です。右側にうっそうと茂った運正寺・安養寺の森がみえます。

足羽山のあらまし

○足羽山の面積は --------

およそ115ha。このうち山林はマツ・スギなど針葉樹林が9.3haほど、シイ・カシ・コナラ・クリなど広葉樹林は８２haほどです。

○一番高い所は --------

足羽山で一番高い所は、植物園の西側にある小高い丘で、標高は116.5*m*です。ここには測量の時に使われる三角点があります。

○ながめのよい場所は -------

藤島神社の付近、足羽神社の付近、博物館の屋上、植物園の付近はながめがよく、福井の市街地や遠く白山もよく見えます。

○足羽山の天然記念物は --------

足羽山には福井市指定の天然記念物が３つあります（昭和４５年１１月３日指定）。

①シダレザクラ（足羽神社境内）

②カエデ（足羽神社境内）

③ギフチョウ（足羽山全山）

○足羽山の鳥や虫たち

野鳥は年間をつうじて７０～８０種が観察されています。ふつうにみられる鳥はシジュウカラ・ヤマガラ・ホオジロ・ハシボソカラスなど。

昆虫はチョウが５０数種、セミが７種確認されています。ほかにもカブトムシ・クワガタムシ・カミキリムシなどいろんな虫がみられます。

○足羽山の古墳

足羽山には1500年も前の古墳がたくさんあります。古墳は当時の人たちのお墓ですから、足羽山と人間のかかわりは古墳時代から始まった、といえるでしょう。

○足羽山の公園化の歴史

明治４２年（1909）　自然公園として三段広場と周辺の整備が始まる

昭和２７年（1952）　博物館が完成

〃　２８年（1953）　歴史館が完成

〃　２９年（1954）　観賞植物園

〃　３４年（1959）　郷土植物園・平和の塔

足羽山のおいたち

○道路ぞいのガケをしらべよう

足羽山の道ぞいにガケや切り割りがあります（右図：不動明王）。露出している岩石をしらべてみましょう。よくみると大小さまざまの礫（れき）がふくまれており、この礫は軽石のようにみえます。また、礫と礫の間をうめているものは、どうも火山灰のようです。水でぬらしても、すぐしみこんでしまいます。



（不動明王のガケ）

○足羽山は凝灰岩の山

軽石や火山灰からできている岩石、これが凝灰岩（ぎょうかいがん）です。足羽山のガケをしらべてみると、そこでみられる岩石はこの凝灰岩であることがわかります。

○足羽山ができた時代

今から1600万年も昔、今の日本海がわ一帯にグリーン・タフ変動というはげしい火山活動がありました。あちこちで火山が噴火し、火山礫や火山灰が厚くたい積しました。足羽山を形づくっている凝灰岩は、この時代の火山ふん出物がたい積したものです。

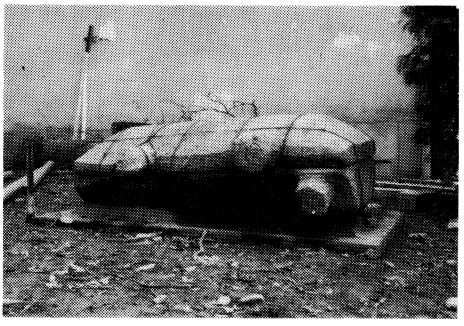
○地質図をみよう

右のページは足羽山の地質図です。これをみると、足羽山を形づくっている凝灰岩にも、いくつかの種類があることがわかります。すぐ近くの兎越山・八幡山の地質図とみくらべて下さい。

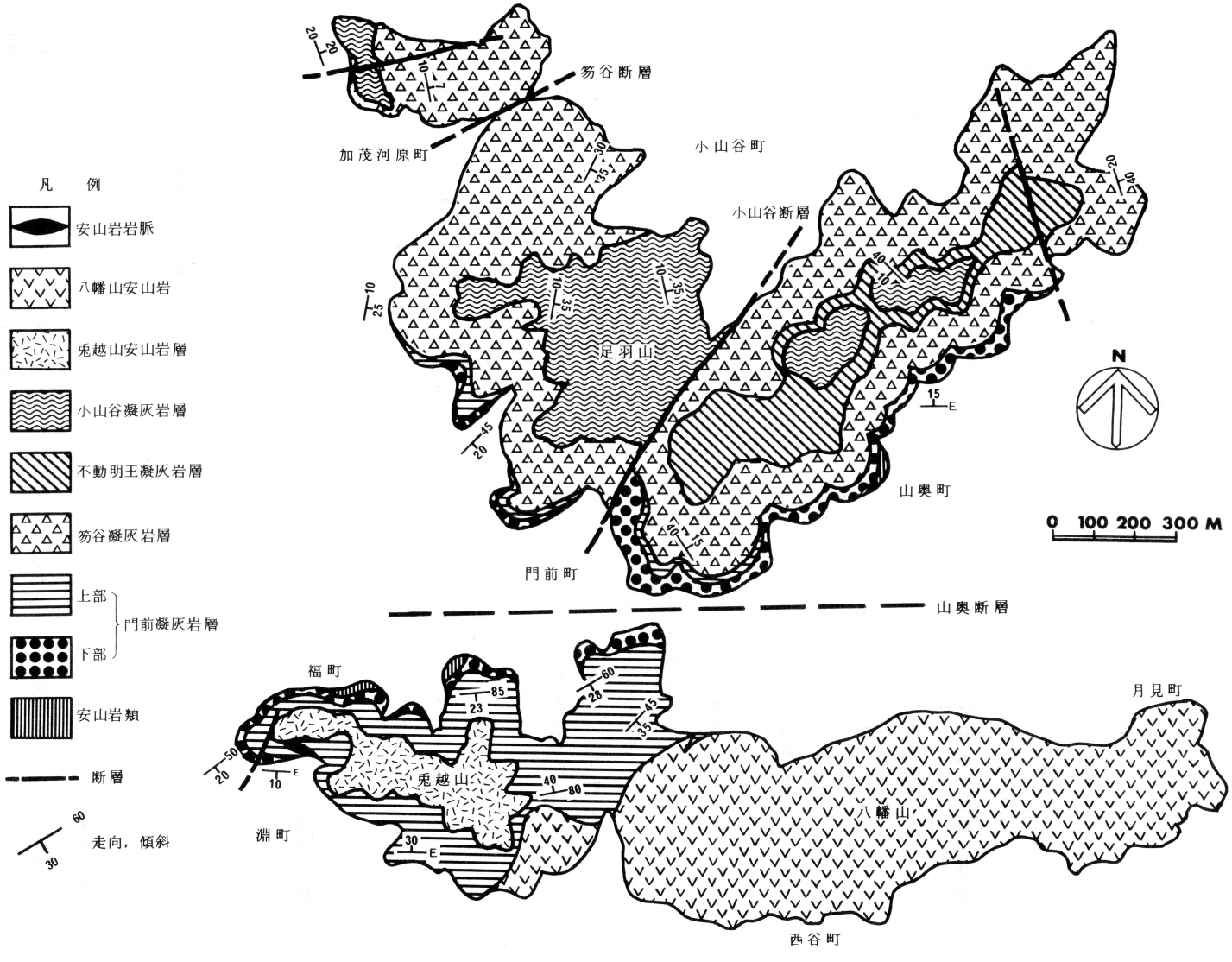
○お城にも使われた笏谷石

笏谷凝灰岩は青みがかっていて美しく、昔から笏谷石（しゃくだにいし）として有名です。笏谷石は石像、墓石などに利用され、福井城の石垣にも使われています。郷土歴史館に展示されている古墳時代の石棺（せきかん）は1500年ほど昔のものですが、これも笏谷石でつくられています。今も笏谷石は地下90mものたて穴を掘って切り出されています。

（左の写真は郷土歴史館提供）



（笏谷石で作られた石棺）



足羽三山の地質図　〔吉澤康暢（1976）原図〕

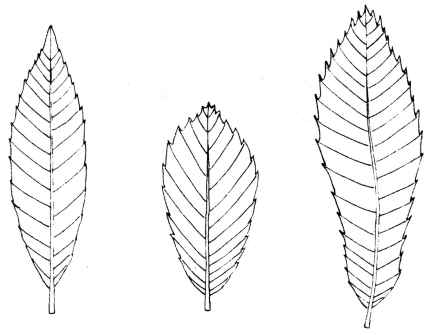
足羽山の生物

足羽山は福井の市街地のすぐ近くにある小さな山ですが、比較的よく自然が残されています。四季おりおりにこの山を歩く時、ともすればなにげなく通りすぎてしまいますが、ちょっと足をとめてみませんか--------。足もとのかわいい花をつけた草に気づきます。そっと耳をすますと小鳥のさえずりが聞こえてくるでしょう。

いったいどんな生物が、この山でみられるのでしょうか？

○常緑広葉樹と雑木林

まず右ページの植生図（しょくせいず）をみて下さい。これをみると現在の足羽山はほとんどがアカマツの林か、コナラ・クヌギなどの雑木林（ぞうきばやし）であることがわかります。また北のはしの方、足羽神社のまわりにはスダジイ・シラカシ・タブノキ・ヤブツバキなど一年中緑の葉をつけている常緑広葉樹（じょうりょくこうようじゅ）の林があります。



（シラカシ・コナラ・クヌギの葉のカット）

大昔、足羽山に人間が住みつく前は、シイ・カシ類が全山をおおっていたことでしょう。しかし、人間が生活のためにスギやヒノキを植林したり、炭焼きのためにシイやカシを伐採しました。そのあとにはえてきたものはコナラ・クヌギなどの雑木林です。雑木林の植物は炭やまきの原料となり、落葉はたい肥として人びとに利用されてきました。

雑木林の中には常緑広葉樹の幼樹が何本もみられます。もし今後、足羽山に人間の手がいっさい加わらないとしたら、足羽山は本来の植生であるシイやカシなど常緑広葉樹の森に変わっていくことでしょう。

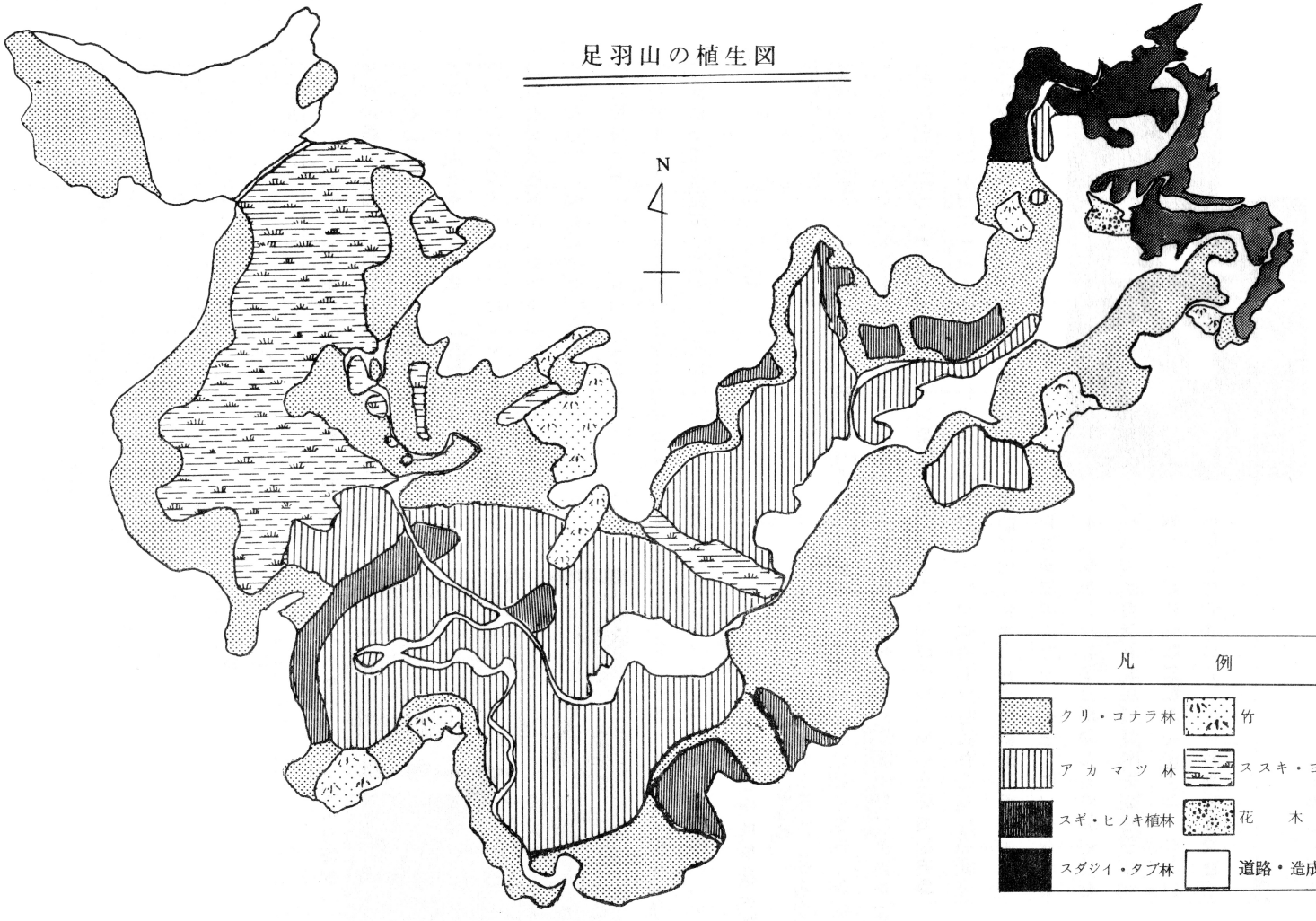
○花ごよみ

足羽山では春から秋まで、いろんな花が私たちの目を楽しませてくれます。代表的な植物について花ごよみをつくりました（Ｐ８～９）。この中には観賞植物園にある草木も含まれていますから、花の時期はいつごろか、実の時期はいつごろか、植物図鑑とてらしあわせて参考にして下さい。各月をそれぞれ上旬・中旬・下旬にわけてあります。

○虫ごよみ

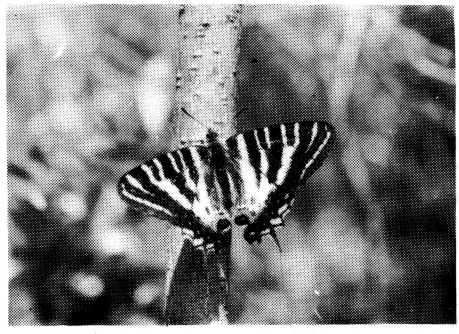
昆虫はたくさんの種類がいますが、よく目につくチョウ、鳴き声で種類がわかるセミについて虫ごよみをつくりました（Ｐ１０～１１）。このうちギフチョウは「春の女神」ともよばれる黄色と黒のだんだら模様の美しいチョウで、年に１回だけサクラの花が咲くころに現われま

足羽山の植生図



参考原図　香室昭円・筒田安江（1976）

す。足羽山のギフチョウは福井市の天然記念物に指定されています。


（〝春の女神〟ギフチョウ）

○鳥ごよみ

足羽山は鳥獣保護区（ちょうじゅうほごく）になっており、もちろん狩猟は禁止されています。とくに山の東半分は鳥獣特別保護区として、みだりに木を切ることも禁じられています。そのせいか市街地に近い山としては野鳥は豊富で、年間７０～８０種が観察されています。主な野鳥のみられる時期を鳥ごよみにしました（Ｐ10）

野鳥の観察によい季節は４～５月ころと、渡り鳥のやってくる１０～１１月にかけてです。早朝、静かに足羽山を歩いてみると２０～３０種は観察できるでしょう。また、足羽山には野鳥が好きな実のなる植物（たとえばイヌツゲ、モチノキ、ヒサカキ、ナンテンなど）が植えてある所や、水浴のためのバード・バスもあり、このような場所ではかわいらしい野鳥の姿をみる機会が多いと思います。

○キツネやタヌキは？

時々、博物館に「足羽山には大型のほ乳動物はいないのですか？」という質問があります。クマはもちろんのこと、残念ながらキツネ・タヌキも現在はいないようです。ノウサギはたまにみかけることがあります。１０～１５年前ならばキツネやタヌキは多くみられたということですが、車が走るようになったり、野犬がふえたりして足羽山が住みにくくなってしまったのでしょうか？　そういえば美しい鳴き声をきかせてくれたカッコウも、あまりやって来なくなりました。イタチがいるとか、ムササビがいるという話もききますが、めったに見られません。


（巣箱にきたシジュウカラ）

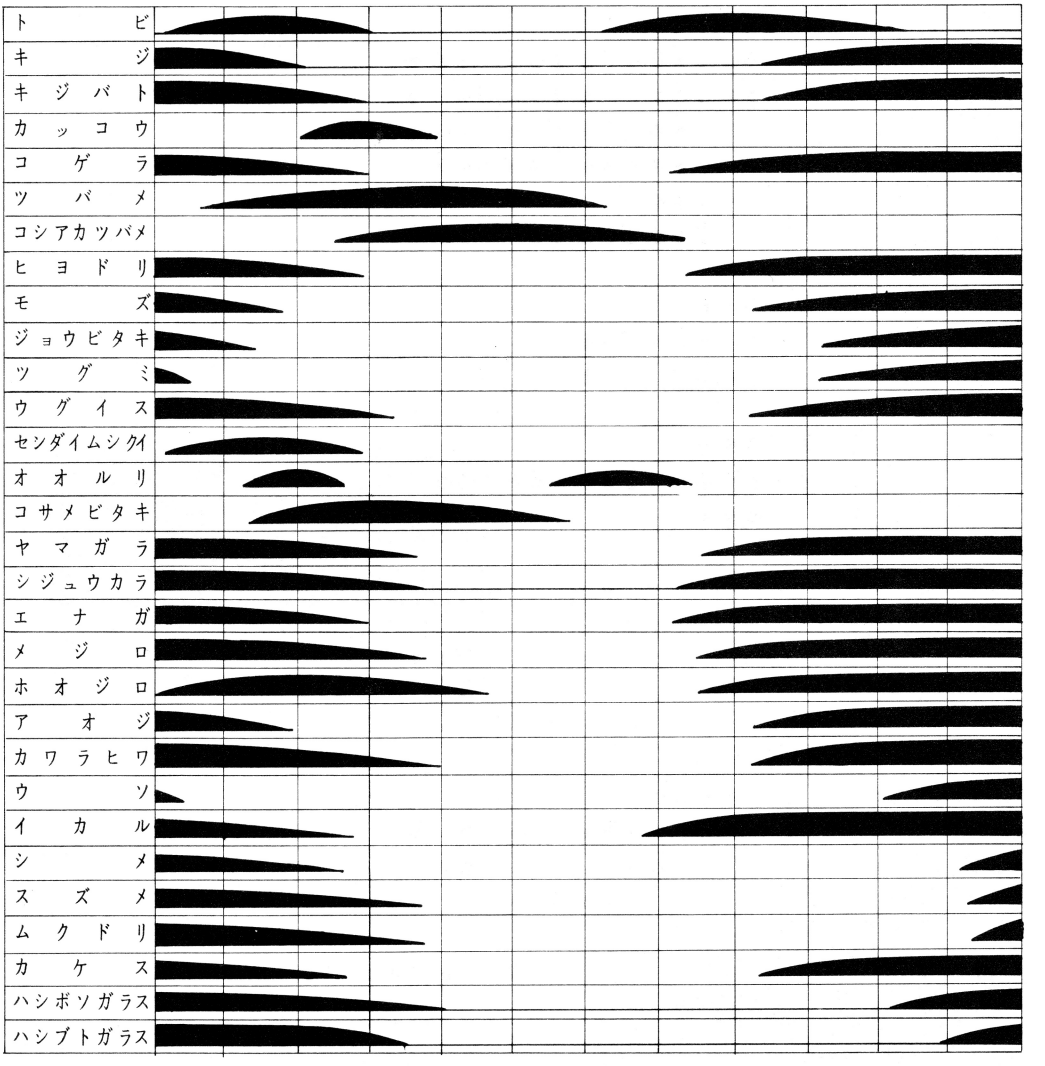
足羽山の生物ごよみ

種類＼月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
植物	○花ごよみ						●実ごよみ					
サザンカ(栽)								○○	○○○	○○○		
ヤブツバキ	○○	○○○					●	●				
ウメ(栽)	○○			●								
フキノトウ	○○○											
オウレン	○											
タンポポ	○	○○○										
タチイヌノフグリ	○	○○○	○									
タチツボスミレ	○○	○										
ショウジョウバカマ	○○	○										
ヒサカキ	○○								●●●	●●●		
ヤマザクラ	○	○										
ソメイヨシノ(栽)		○										
アオキ	○○	○								●	●●●	
カタクリ	○	○										
コブシ	○	○					●	●				
ツバキ(栽)	○	○										
ヤマモミジ		○○										
ヤマブキ		○										
コバノガマズミ		○	○				●●	●				
ミヤマガマズミ		○	○				●●	●				
コアジサイ			○	○								
ヤマアジサイ				○○○								
アジサイ(栽)				○○	○○							
ヤマツツジ			○○○									
スイカズラ			○	○								
ヒラドツツジ(栽)			○○									
サツキ(栽)				○○								
クリ				○				●				
レンギョウ(栽)		○○	○									
ハナズホウ(栽)		○○										
フジ			○○					●				
コナラ		○					●	●				
ウワミズザクラ		○	○		●	●						
タニウツギ			○○									
アカマツ			○○									
アカメガシワ					○○							
シライトソウ			○○	○								
ムラサキシキブ				○								

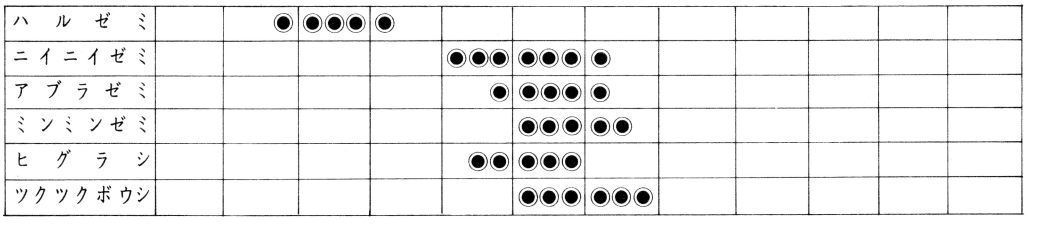
種類＼月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
テイカカズラ				○○								
ヒメジョオン				○	○○○	○○○	○					
キョウチクトウ(栽)					○○	○○○	○○○					
ヨメナ					○	○○○						
ヒヨドリバナ						○○○	○○					
クズ					○	○○○						
ネムノキ					○○							
ツユクサ				○	○○○	○○○	○○○					
リョウブ					○	○○						
ムクゲ(栽)						○○	○○○					
ハギ						○○○	○○○					
ススキ						○	○○○					
サルスベリ(栽)						○○	○○					
クサギ						○○○		●●				
ヤブガラシ					○	○○○	○○○					
キンモクセイ(栽)							○					
ヤブラン					○	○○○	○○					
ノコンギク							○○	○○○				
ヒガンバナ							○○					
アキノキリンソウ								○○○	○○○			
アオハダ			○○				●●●	●●●				
ゴンズイ							●●	●●●	●			
アズキナシ			○					●●●	●●●	●●●		
ツシマナナカマド			○○					●●	●●●			
タラヨウ									●●●	●●		
シロダモ								○	●●●	●●		
ノイバラ			○○				●	●●				
イイギリ							●	●●●	●●●	●●●	●	
カラスウリ						○○			●●●	●●●		
ヤブコウジ									●●●	●●		
スダジイ			○						●●			
シラカシ									●●●			
クヌギ		○					●	●				
ヤシャブシ		○						●●				
ソヨゴ				○○					●	●●●		
アケビ		○○						●●				
オドリコソウ		○	○○									
モチノキ			○						●●●	●●●		
ビナンカズラ						○○			●●●	●●●		
ミゾソバ							○	○○○	○○○			

種類＼月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2

野　鳥　（野鳥の見られる期間）



セ　ミ　（鳴く期間）



種類＼月	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
チョウ				（成虫の見られる期間）								
ギフチョウ		◆◆◆										
アゲハ		◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆	◆◆	◆					
キアゲハ		◆◆	◆◆◆	◆	◆	◆◆	◆					
アオスジアゲハ			◆◆	◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆					
モンキアゲハ			◆◆◆	◆◆◆	◆◆	◆◆◆	◆					
クロアゲハ			◆◆◆									
カラスアゲハ			◆◆◆	◆◆◆	◆◆	◆◆	◆					
ツマキチョウ		◆	◆									
モンシロチョウ		◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆							
スジグロシロチョウ		◆◆	◆◆	◆		◆						
コツバメ	◆	◆◆◆	◆									
ルリシジミ	◆	◆◆◆	◆◆	◆◆◆	◆◆◆	◆◆						
トラフシジミ		◆◆	◆◆		◆							
アカシジミ				◆								
ミズイロオナガシジミ				◆								
オオミドリシジミ				◆								
ウラナミシジミ						◆◆	◆					
ウラギンシジミ						◆		◆ ◆				
ルリタテハ	◆	◆◆◆	◆									
ヒオドシチョウ		◆◆	◆◆◆	◆								
コミスジ			◆◆	◆◆◆	◆	◆	◆					
ゴマダラチョウ			◆	◆		◆◆◆						
ミドリヒョウモン				◆	◆							
イチモンジセセリ					◆	◆	◆					
ミヤマセセリ		◆◆	◆◆									
ヒメジャノメ				◆◆		◆◆						
クロヒカゲ			◆	◆◆	◆	◆						

備　考

1. このこよみは足羽山での昭和５１年の１年間に観察し記録したものです。
2. 同一種でも環境によって若干の差異があるが、これは平均的な記録です。
3. 花ごよみ、実ごよみで（栽）とあるのは、花木園の植栽花木についての記録です。

自然のバランスとは--------

よく「自然のバランス」ということばを耳にしますが、それはどういうことでしょうか。

多くの昆虫が植物の葉を食べることは、よく知られています。そして、これらの虫を鳥が食べることも知られています。もし、何かのきっかけで虫の数が多くなると、虫を食べる鳥もふえて、結果的には虫の数はもとどうりになります。このように自然の中では、生物がお互いにバランスを保ちながら生きているわけです。

ところが、人間がむやみに森林をきりはらったらどうなるでしょうか？　まず植物を食べていた虫がいなくなります。虫がいなくなれば、それをエサにしていた鳥もいなくなってしまいます。それればかりでなく、無計画な森林の破壊はガケくずれなどの災害をもひきおこします。足羽山のギフチョウが減ったのは、採りすぎによるものでしょうか--------。



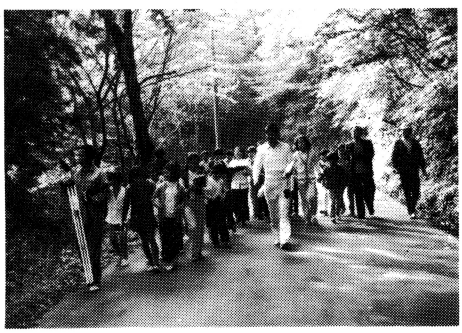
（道ばたに散らばるゴミ）

①ゴミは必ず持ち帰ろう

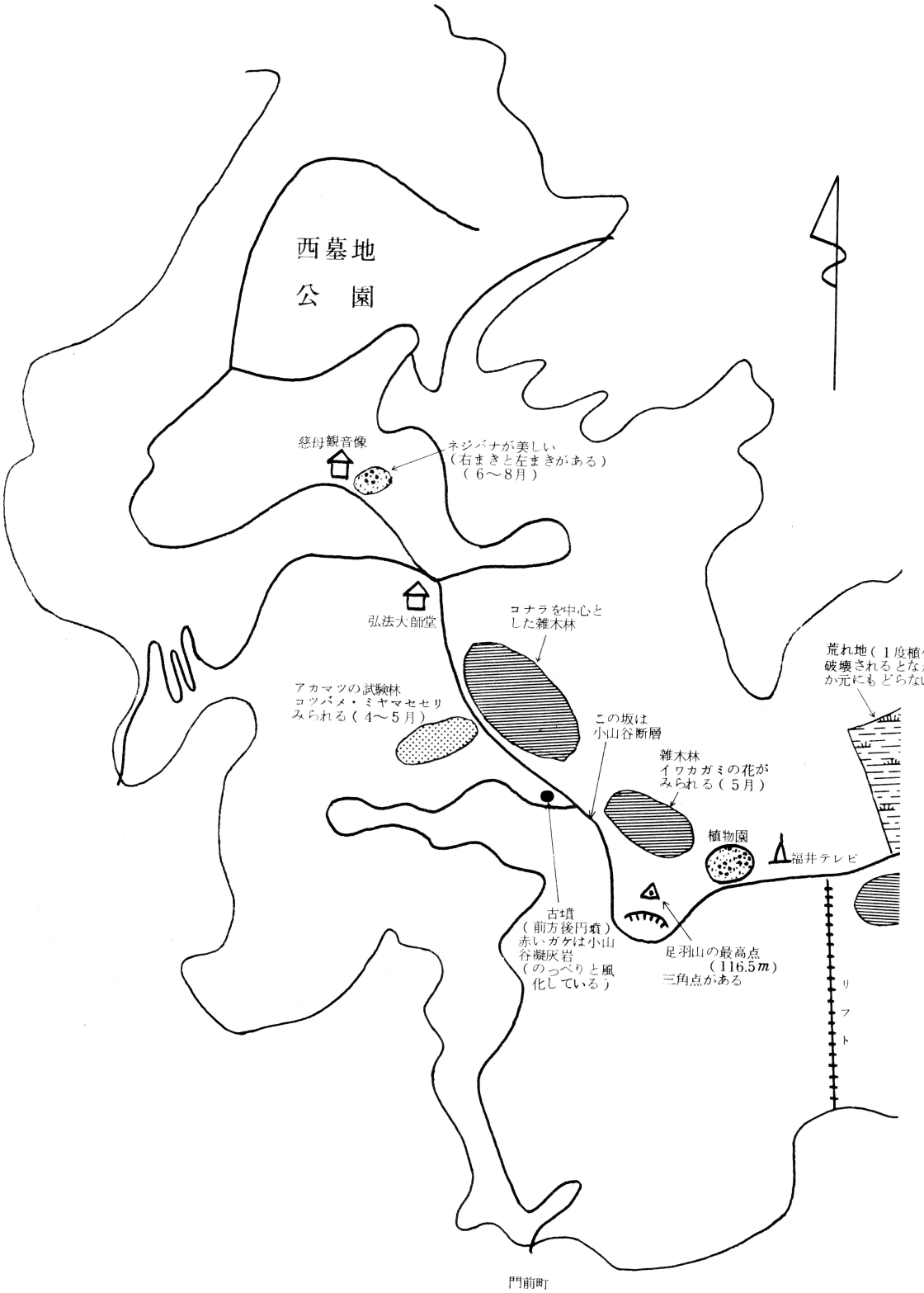
現在、日本の山は低い山でも高い山でもゴミだらけです。足羽山もあちこちにゴミが散らかっています（左図）。いまにゴミの山になってしまうかもしれません。ひとりひとりが自分のゴミを持ち帰れば、山が汚れることはありません。

②歩いて登ろう

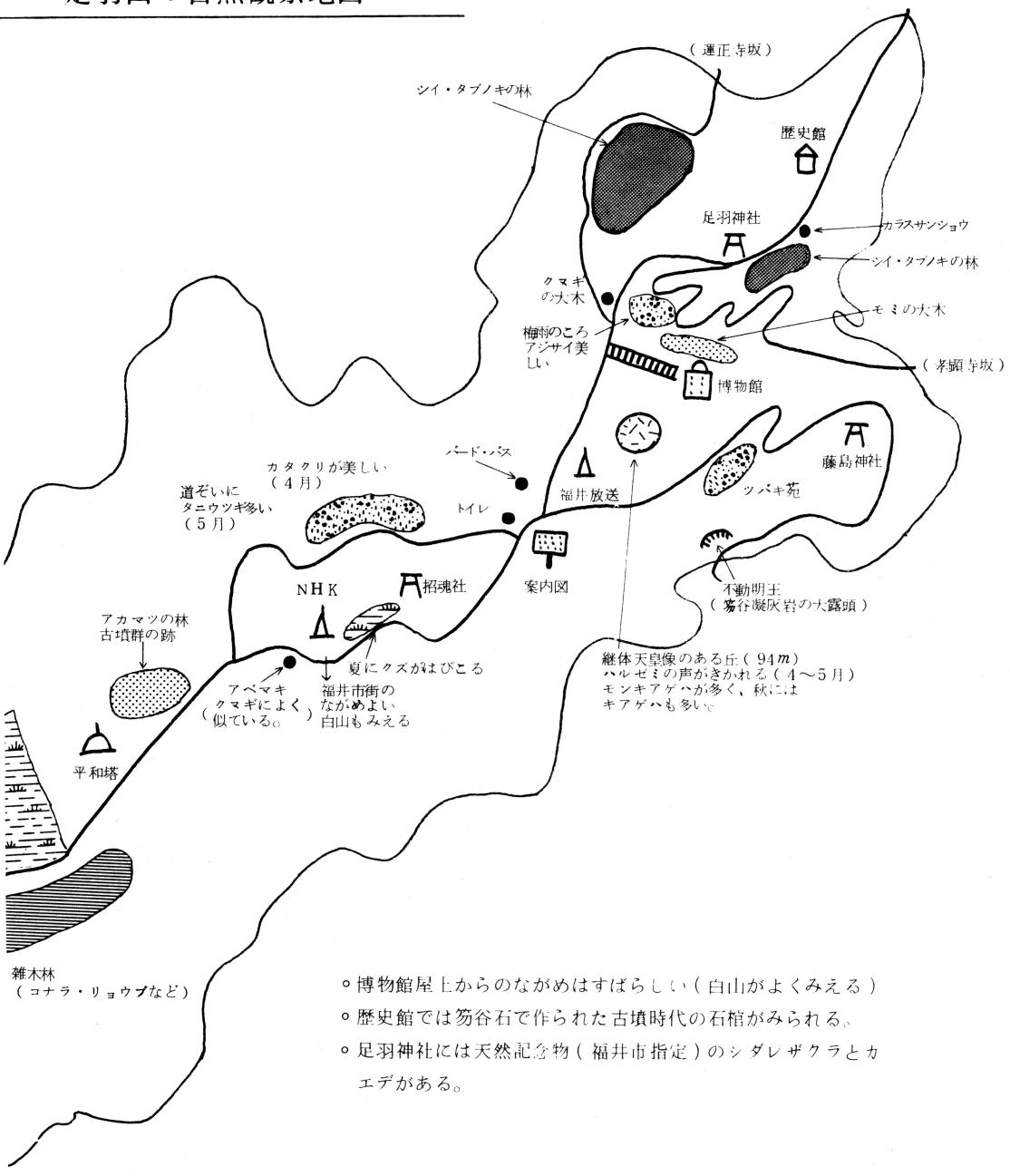
足羽山を車で走ったらわずか１０分しかかかりませんが、これでは草木の花をながめたり、鳥の姿をみることもできません。やはり自分の足で歩き、気にいった所があれば景色をながめ、見なれない花が咲いていたらじっくり観察してみる。それが自然を理解することにつながるのではないでしょうか？



（歩いて登ろう）


西墓地
公園
悠母観音像
ネジバナが美しい
（右まきと左まきがある）
（6～8月）
弘法大師堂
コナラを中心とした雑木林
荒れ地（1度植生が破壊されるとなかなか元にもどらない）
アカマツの試験林
コツバメ・ミヤマセセリみられる（4～5月）
この坂は小山谷断層
雑木林
イワカガミの花がみられる（5月）
植物園
福井テレビ
古墳
（前方後円墳）
赤いガケは小山谷凝灰岩
（のっぺりと風化している）
足羽山の最高点
（116.5m）
三角点がある
リフト
門前町

足羽山の自然観察地図



- 博物館屋上からのながめはすばらしい（白山がよくみえる）
- 歴史館では笏谷石で作られた古墳時代の石棺がみられる。
- 足羽神社には天然記念物（福井市指定）のシダレザクラとカエデがある。